

被辱

の

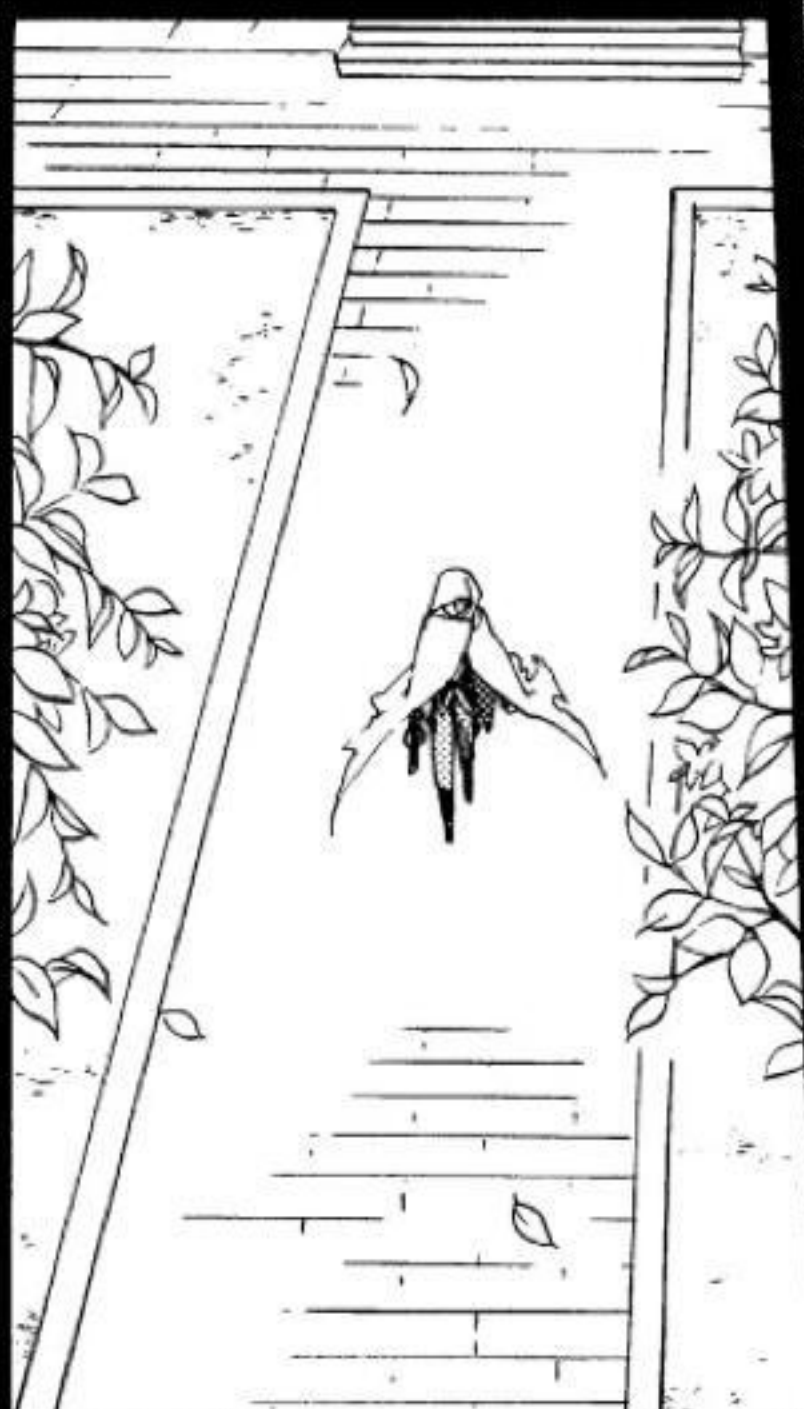
初回

版

後編

成人
Only







彼岸の箱庭
後編



あーっ！

乱…

もう！
3時間もどこに
隠れてたのさ！

いち兄
やつと出てきた！

いち兄
中々出てこないし
どこにいるのか
解らないから
心配してたんだよ！



はは…ごめん
隠れていた場所で
つつい
寝こけてしまつて…

まさか
あのような場に出くわして
しばらく出られなかったとは
言えないな…



そう…だね

彼らは「今夜」と言っていた

いったい今夜なにが…



今日の夕餉の当番
ボクだったんだけど
燭台切さんが
代わってくれたんだ！

陽の高いうちに
主とお散歩に
行ってくるね

いち兄も
一緒に行こうよ



そ…うなのかい

ああ…
構わないよ

燭台切殿…



燭台切さん
なんだか凄く
張り切ってたから
今夜はきつと
豪勢だよ！

たのしみだね！







鍛刀しよう

国広をもう一度
呼び戻すんだ



鶴丸殿の声？

主に何が…

主、ほら



そうさ主

また国広くんや
皆と暮らそう



あんたが呼べば
必ず国広は
応える

そうすれば全て
元通りだ



ええ

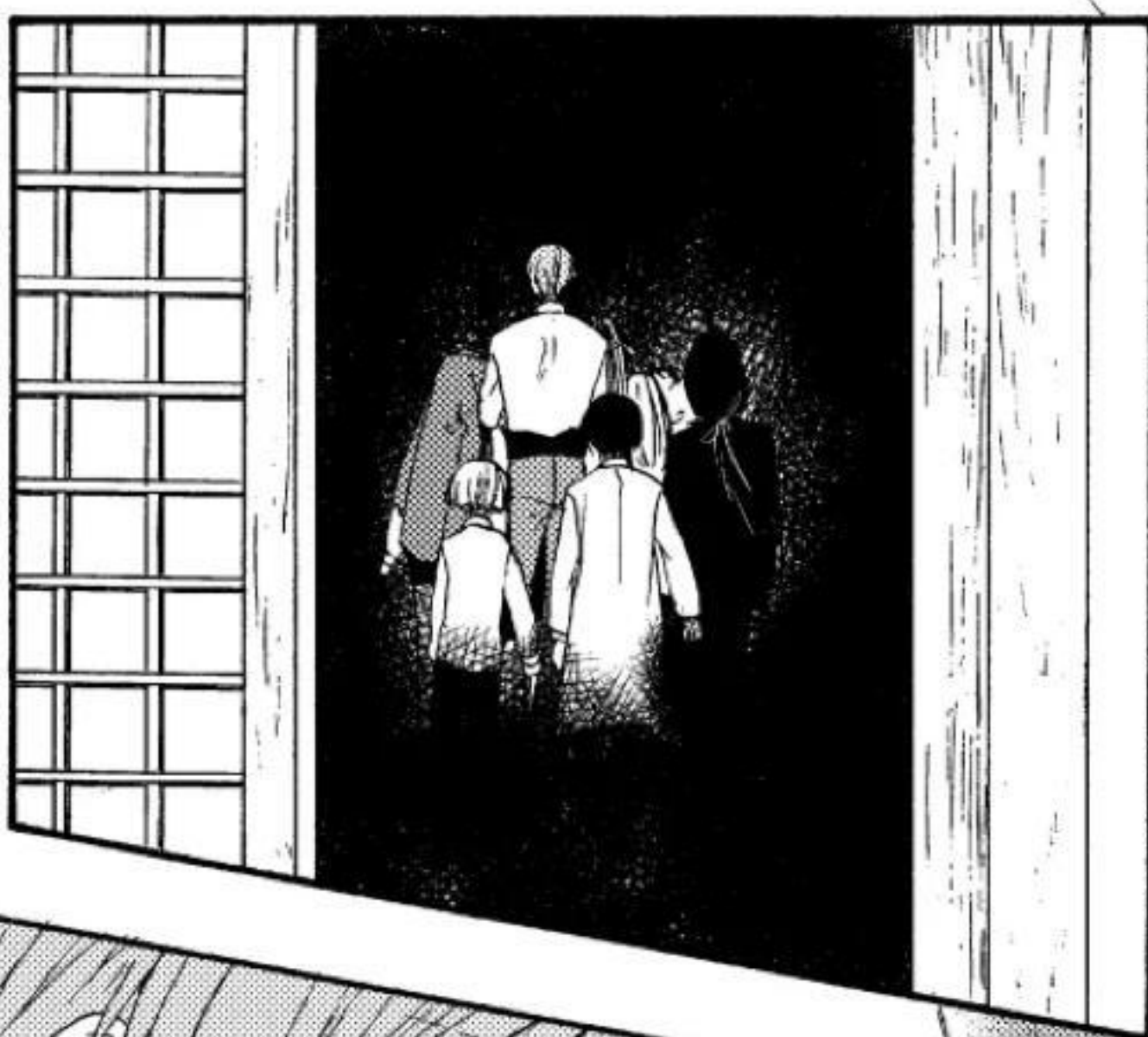
ええ！

国広！
戻ってきて
ちょうだい！





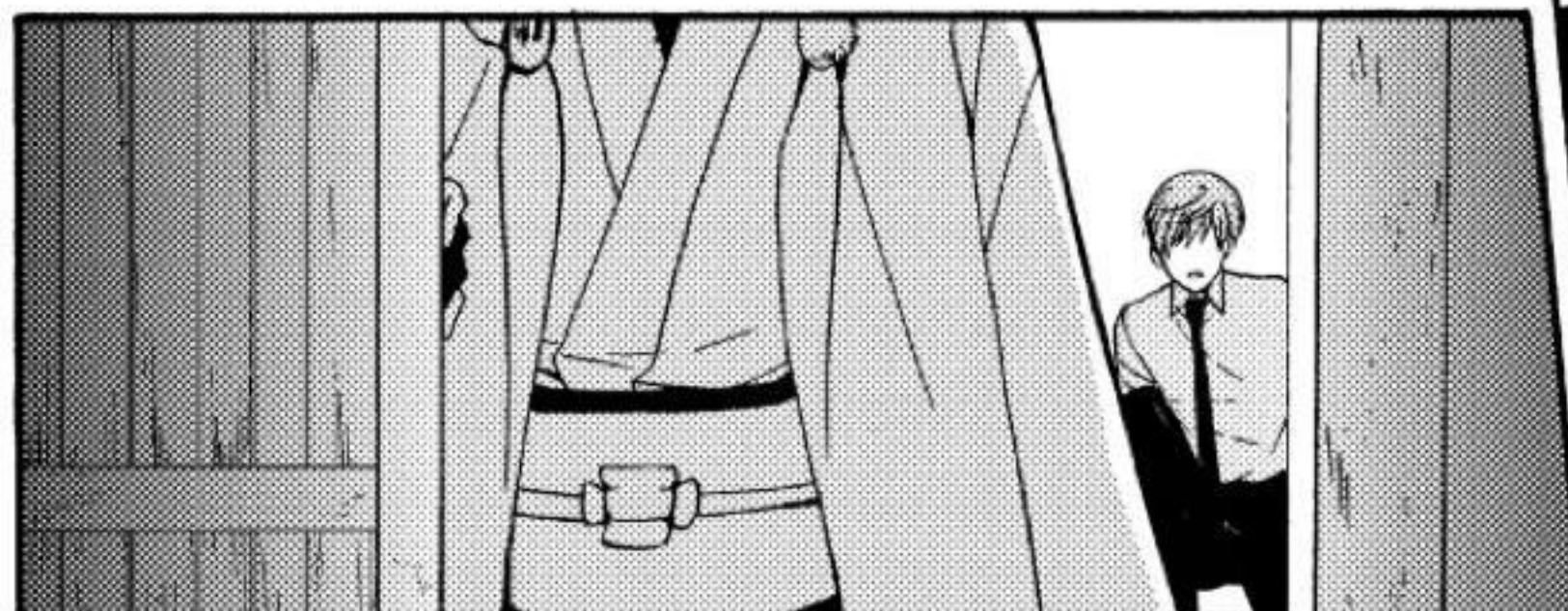












仕方ない

君にも
見せておこう



君が肉体を
得た日から
ふた月ばかり
前の話だ

俺と光忠、
大俱利伽羅、
そして国広

四人で
墨侯の戦場へ
行ったんだ



一期一振を
探すためにな

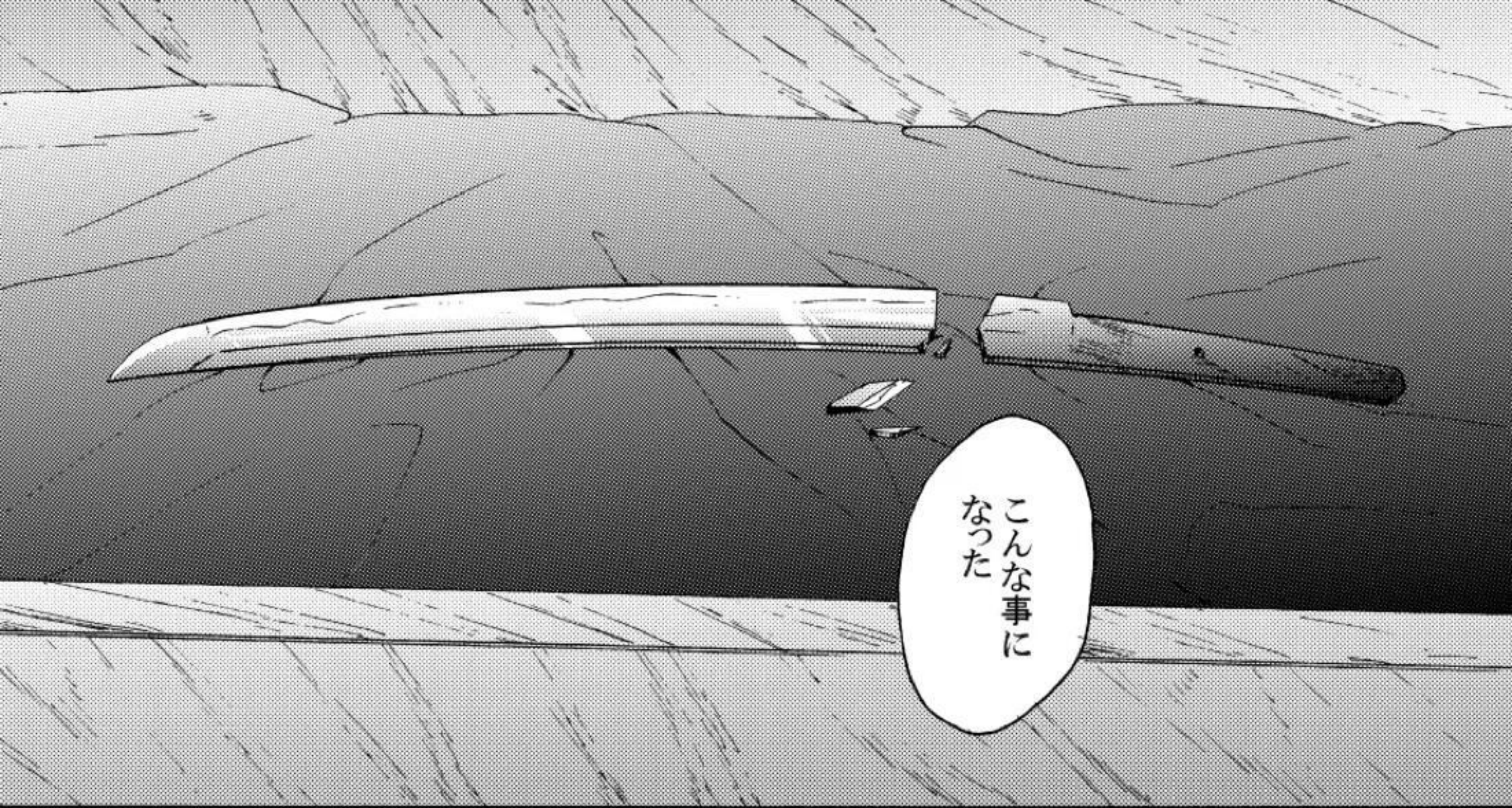


その結果



油断はあった

四人が四人
練度は最高値、
墨侯なんざ飽きる程
行軍した慣れた
所だったんだ



国広

国広

嫌よ

いなく
ならないで

だれも
だめよ
なくなつては

主は俺たち刀を
それは大事に
してくれる

とりわけ国広は
主が最初を選んで
長く苦楽を共にした
心の支えだった

そして俺たちは…

主！
鍛刀しよう！

国広を
呼び戻すんだ！

ああ国広…！

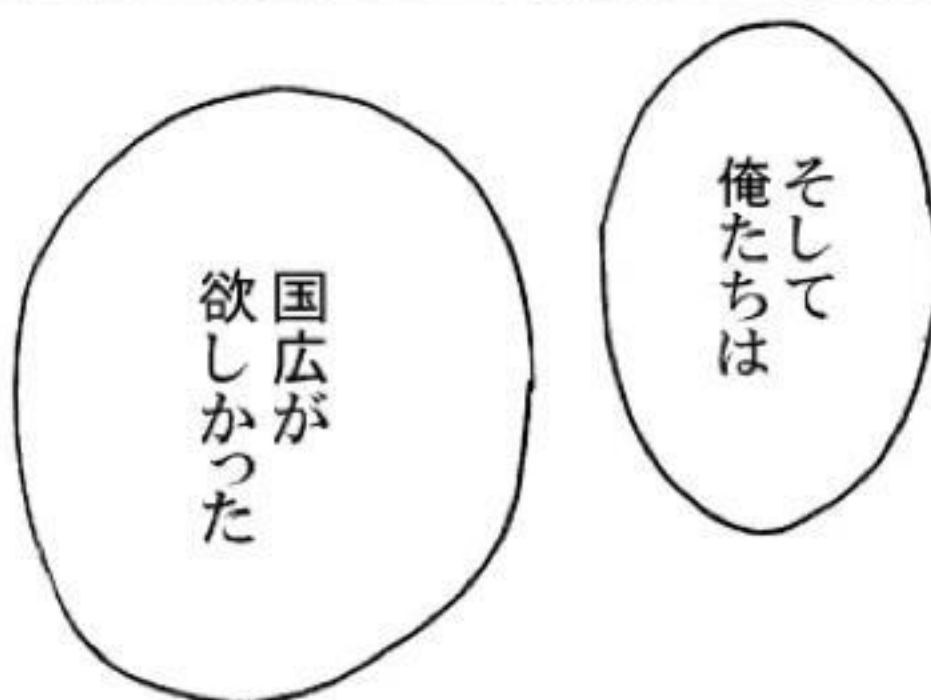
国広



主は
誰も欠く事のない
幸せな本丸が
欲しかった



皆は
主の幸せが
欲しかった



そして
俺たちは

国広が
欲しかった



俺と光忠

そして今日の
大俱利伽羅の
国広

三振を
鍛刀した

後は折を見て
主の為の最後の
国広を
鍛刀する

主が人で
なくなってしまう
前にな

刀を呼ぶのは
人にしか出来ない
業だからなあ

つっ…
鶴丸殿！

主が人では
なくなると!?

一期

人がなぜ
俺たち刀に
肉の体を与えたか
知っているかい

それは…

刀自身で
敵を討つため…

ならば君は
一度でも
敵とまみえたか？

！

俺たち以外の
刀や人間を
見たか

出陣したか

君は
体を得て
それから

知っているか？

開かぬ門の
向こうを

167

ここは

鶴丸殿

…そんな

俺の国広を
呼んだ
あの日から

この本丸は
俺たち付喪神の
領域だ

ここに居れば人は
長く人であることが
出来ないようにでな

他の皆は早く主が
こちら側のモノに
なる事を望んでいるが
それももうしばらくの
辛抱だ

俺たちが国広を
隠すたび

折れた国広を思つて
泣き叫ぶ主の姿は
何度見ても
忍びないがな

あ……

誰かしら？
新しい刀が来たとは
聞いていたが……と
思ふのだけれど

主が私を
お忘れになつていた
あれは……！

国広を隠せば
主の時は
あの日へ戻る
呪をかけた

何振りもの
国広を呼んで貰う
必要があつたから
少しでも長く
人だいて貰うために
施したんだが

精神は戻つても
肉体は戻ることが
出来なかった

まあ結果として
まだかろうじて
人であつて
くれている

何度もつらい思いを
させてしまったが
それも次で最後だ！

あ……
主にそのような
仕打ちを……

そうまでして
あなた方は
主に繰り返し山姥切殿を
呼ばせたのですか……！！

そうだ

言つたら

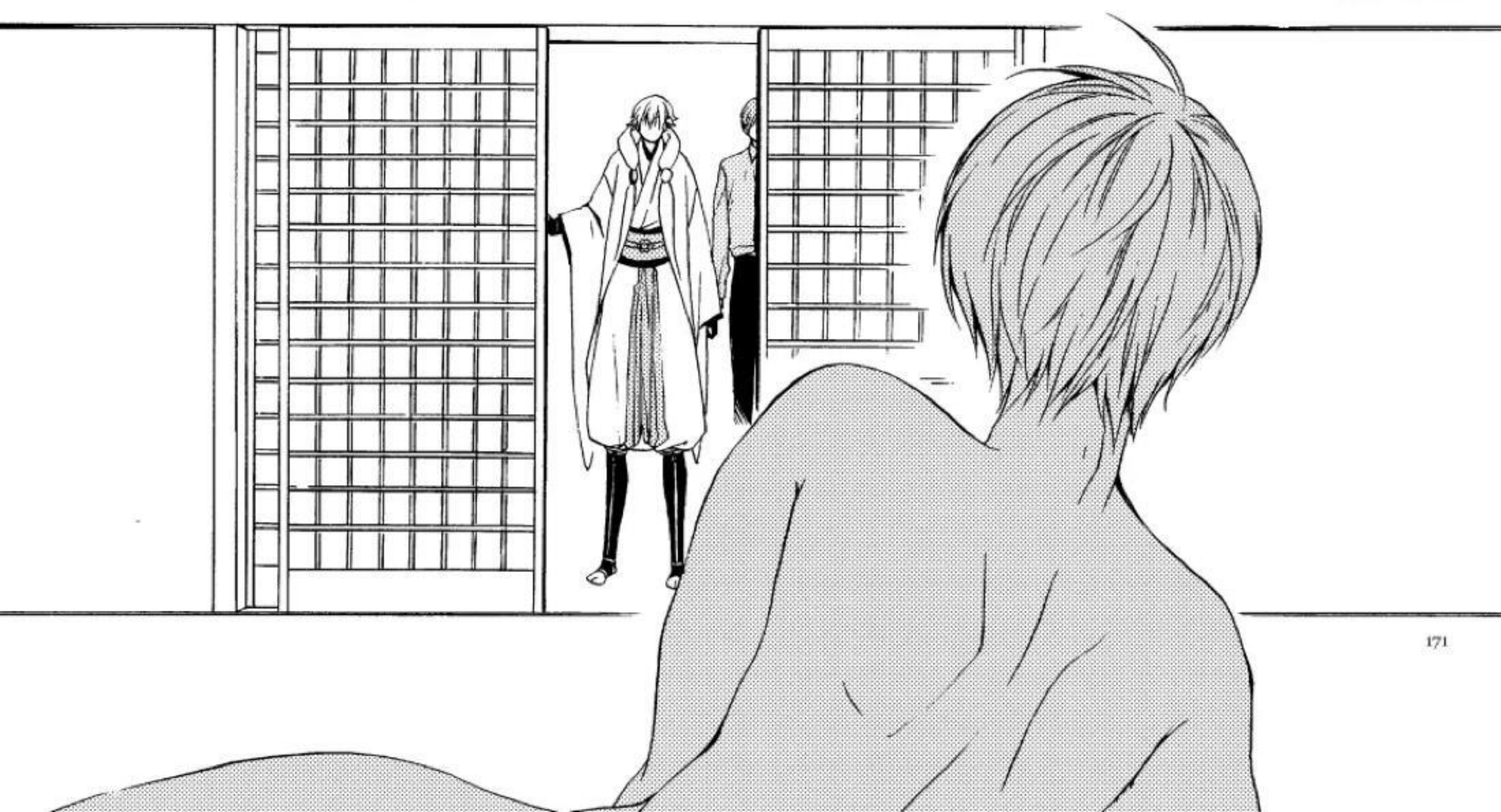
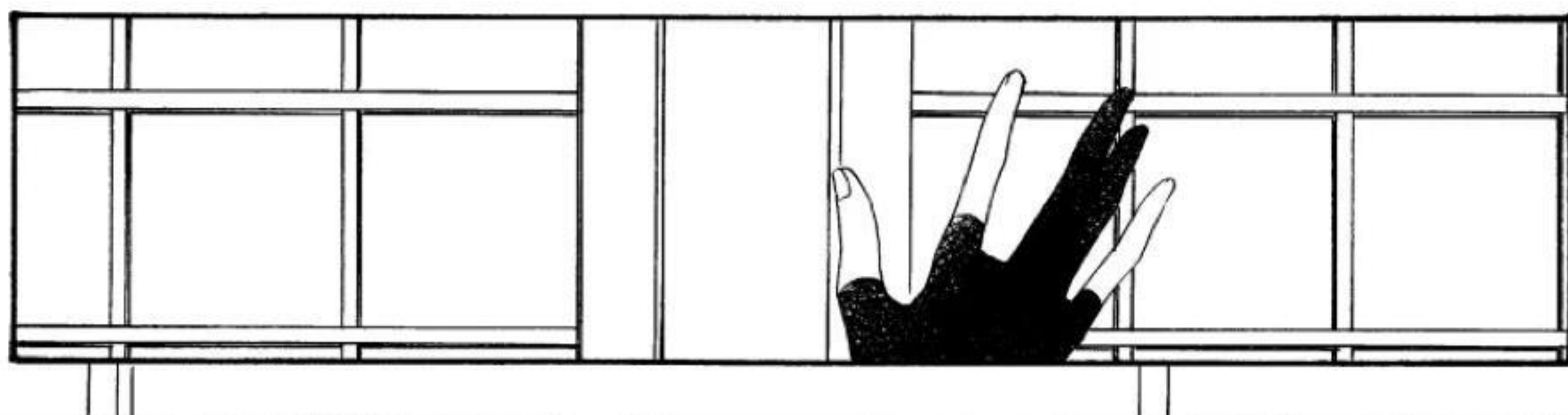
俺たちは
国広が欲しかった

自分だけの
国広が

俺はな、
一期

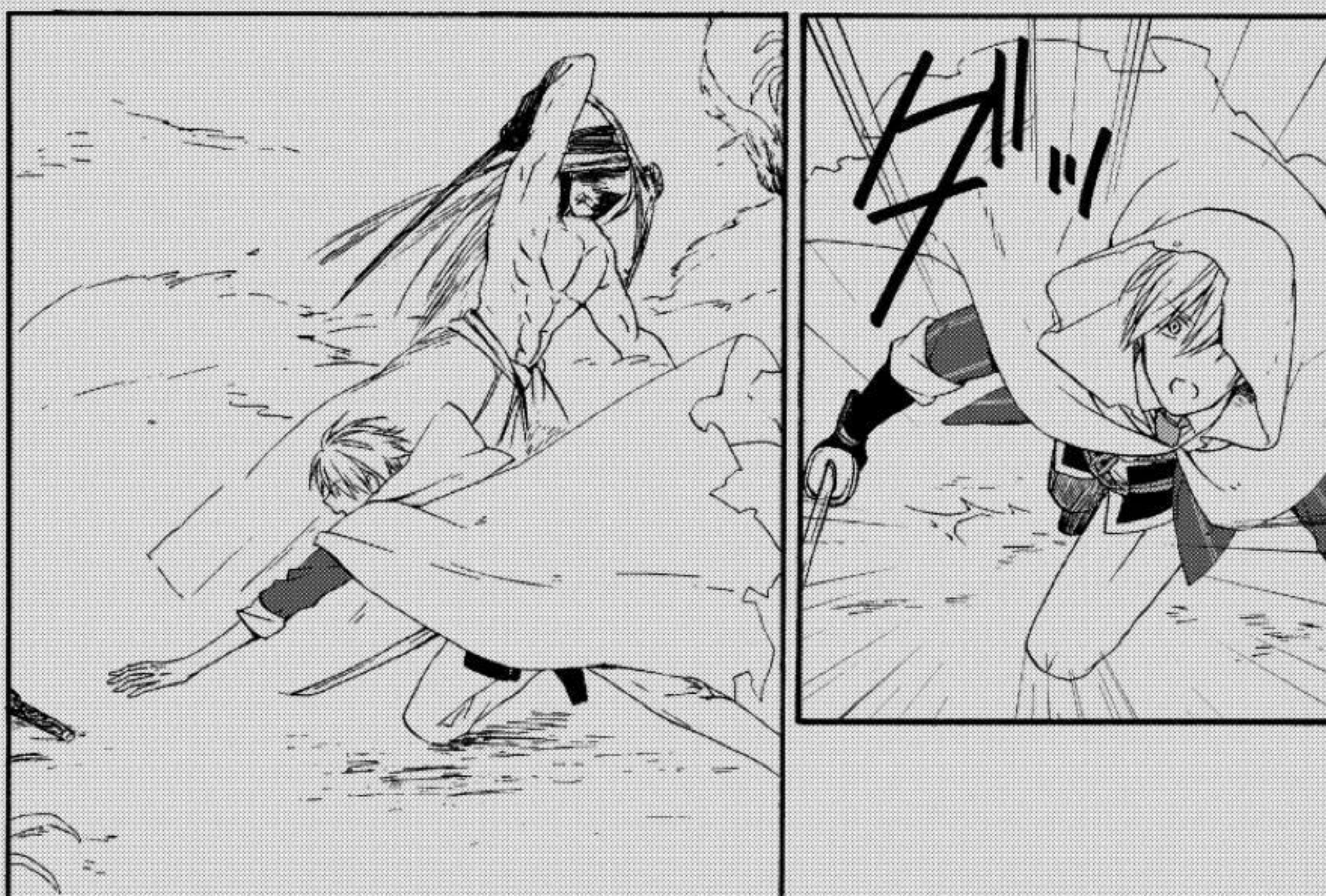
君も同類なんじゃ
ないかと
踏んでいるんだ

















欲しいと思った



ただ共に過ごし
傍に在るだけで
よかったのに



俺たちに
国広を
求めさせたのは

君だ

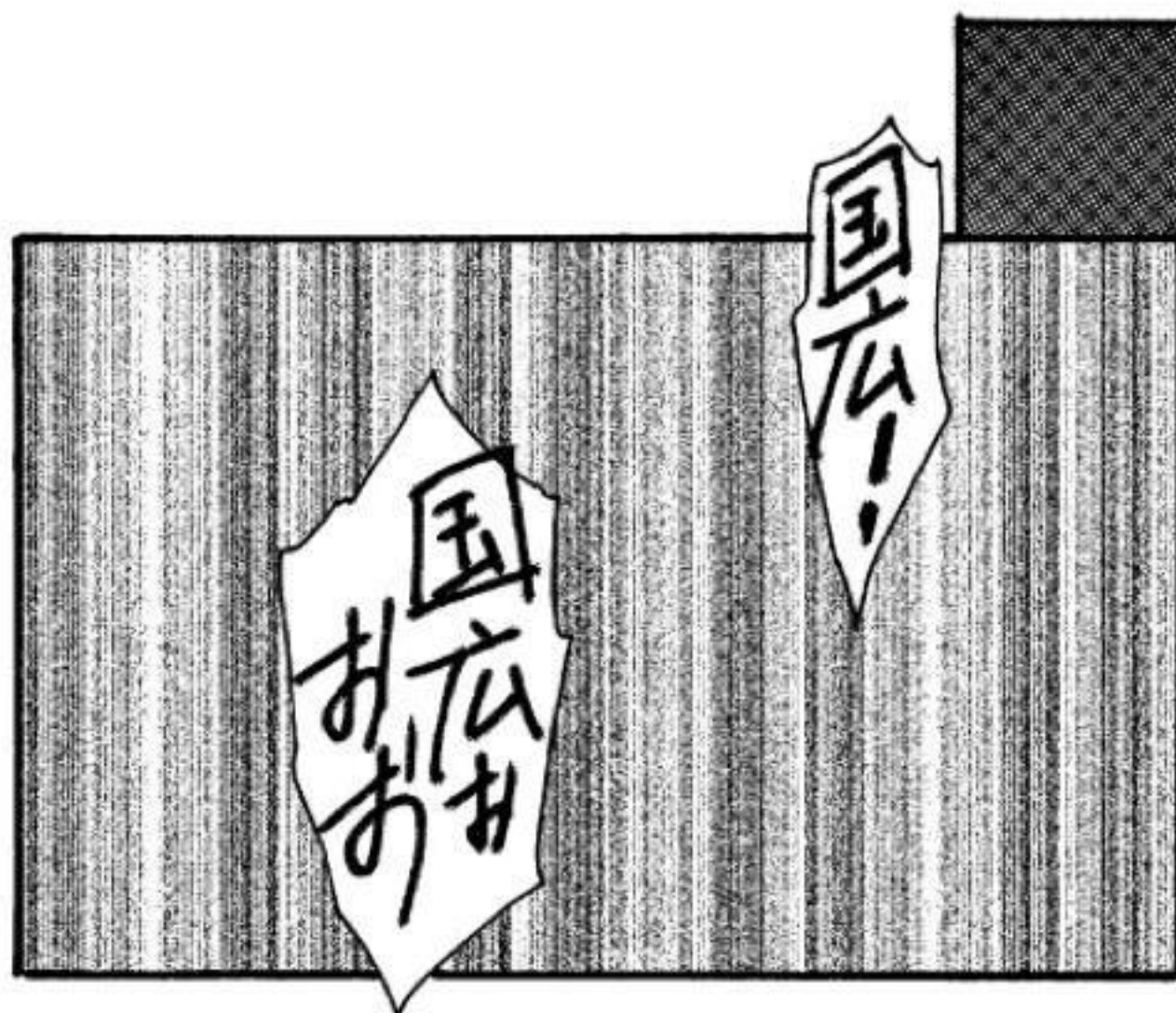














私の国広を

終